

第31期（2015年12月期） 第1四半期
決算補足説明資料

2015年5月7日

サイバネットシステム株式会社

つくる情熱を、支える情熱。
CYBERNET

略式記号について

14.12/1Q	2014年 12 月期 第1四半期期間
14.12/1H	2014年 12 月期 第2四半期累計期間
14.12	2014年 12 月期 通期
15.12/1Q	2015年 12 月期 第1四半期期間
15.12E/1H	2015年 12 月期 第2四半期累計期間予想
15.12E	2015年 12 月期 通期予想
調整後13.12	2013年 12 月期を12ヶ月に調整した通期

※ 当社は2013年12月期より決算日を3月31日から12月31日に変更いたしました。これに伴い、2013年度12月期は、2013年4月1日から2013年12月31日までの9ヶ月間となっております。

◆2015年12月期 第1四半期 決算の概況

[連結]業績の概況	5
[連結]営業利益の増減要因(前年同期比較)	6
[連結]営業利益の増減要因(計画比較)	7
[連結]貸借対照表	8
[連結]キャッシュ・フロー計算書	9
[連結]四半期売上高の推移	10
[連結]セグメント別損益の概況	11
[連結]事業別売上高の増減要因(前年同期比較)	12
[連結]事業別売上高の構成比	13
[連結]事業別営業利益の増減要因(前年同期比較)	14
[個別]ソリューション別の概況	15
[個別]応用分野別売上高	17
[個別]業種別類売上高	18
[個別]ライセンス契約別売上高	19
海外子会社の状況	20

◆2015年12月期 業績予想

[連結]当期の業績予想	23
[連結]当期の配当予想	24

◆参考資料

個別業績及び予想等を記載しております



2015年12月期 第1四半期 決算の概況

つくる情熱を、支える情熱。
CYBERNET

[連結]業績の概況

CYBERNET

(単位:百万円)

	15.12/1Q	14.12/1Q			15.12/1Q		
	実績	実績	前同差	前同比	計画	計画差	計画比
売上高	3,601	3,880	▲ 278	92.8%	3,864	▲ 262	93.2%
営業利益	91	109	▲ 17	84.0%	82	+ 9	111.8%
営業利益率	2.5%	2.8%	▲ 0.3P		2.1%	+ 0.4P	
経常利益	147	178	▲ 31	82.3%	114	+ 33	129.2%
経常利益率	4.1%	4.6%	▲ 0.5P		3.0%	+ 1.1P	
四半期純利益	10	63	▲ 52	17.3%	36	▲ 25	30.4%
四半期純利益率	0.3%	1.6%	▲ 1.3P		0.9%	▲ 0.6P	

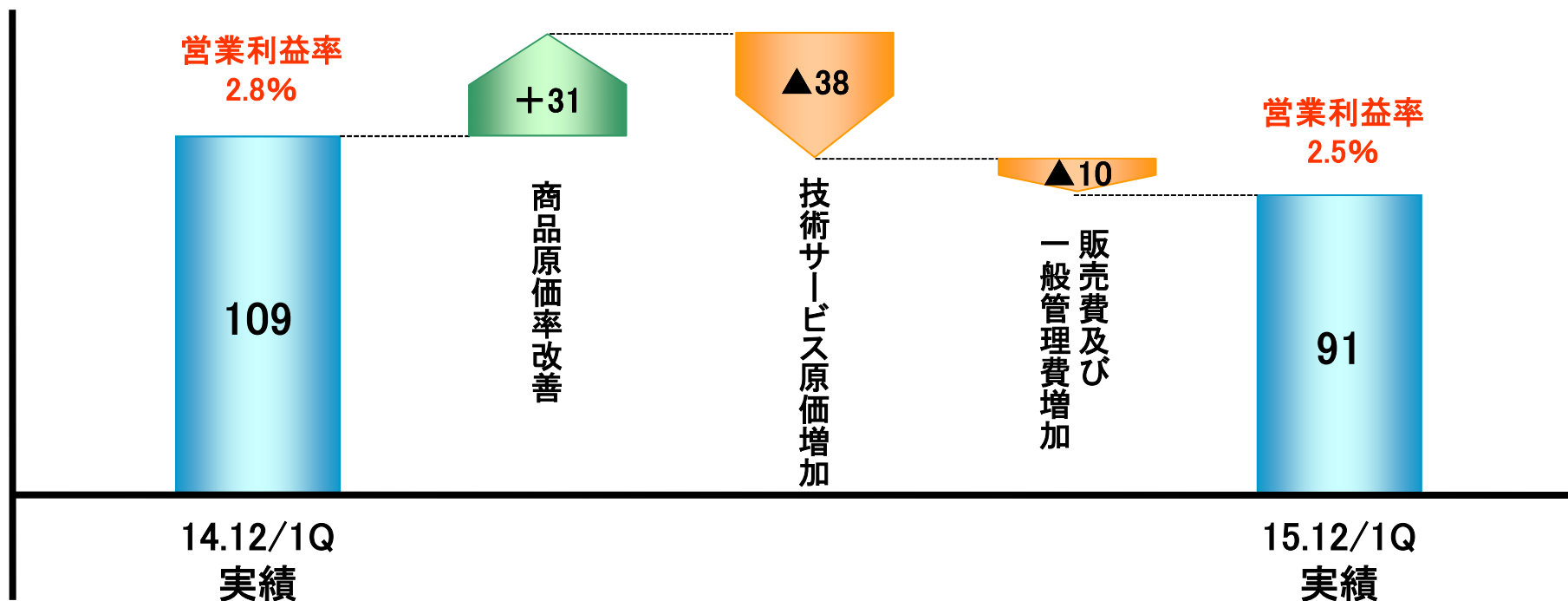
※P:ポイント

◆ 業績の概況

国内売上高は、新規ライセンス販売が電機業界に対しては堅調に推移いたしました。前期において、可視化分野で教育機関から大型案件の受注があったこと及びEDA分野で変更を行った取扱商品が立ち上げ段階のため、前年同期に比べ低調に推移いたしました。海外売上高は、概ね好調に推移いたしました。国内売上高の落ち込みを補うには至らず、売上高は前年同期を下回りました。利益面では、円安等による子会社経費の増加や為替差益の減少、税制改正に伴う法人税率の変更による繰延税金資産の取崩しの影響等により、営業利益、経常利益、四半期純利益は前年同期を下回りました。

[連結]営業利益の増減要因(前年同期比較)

(単位:百万円)



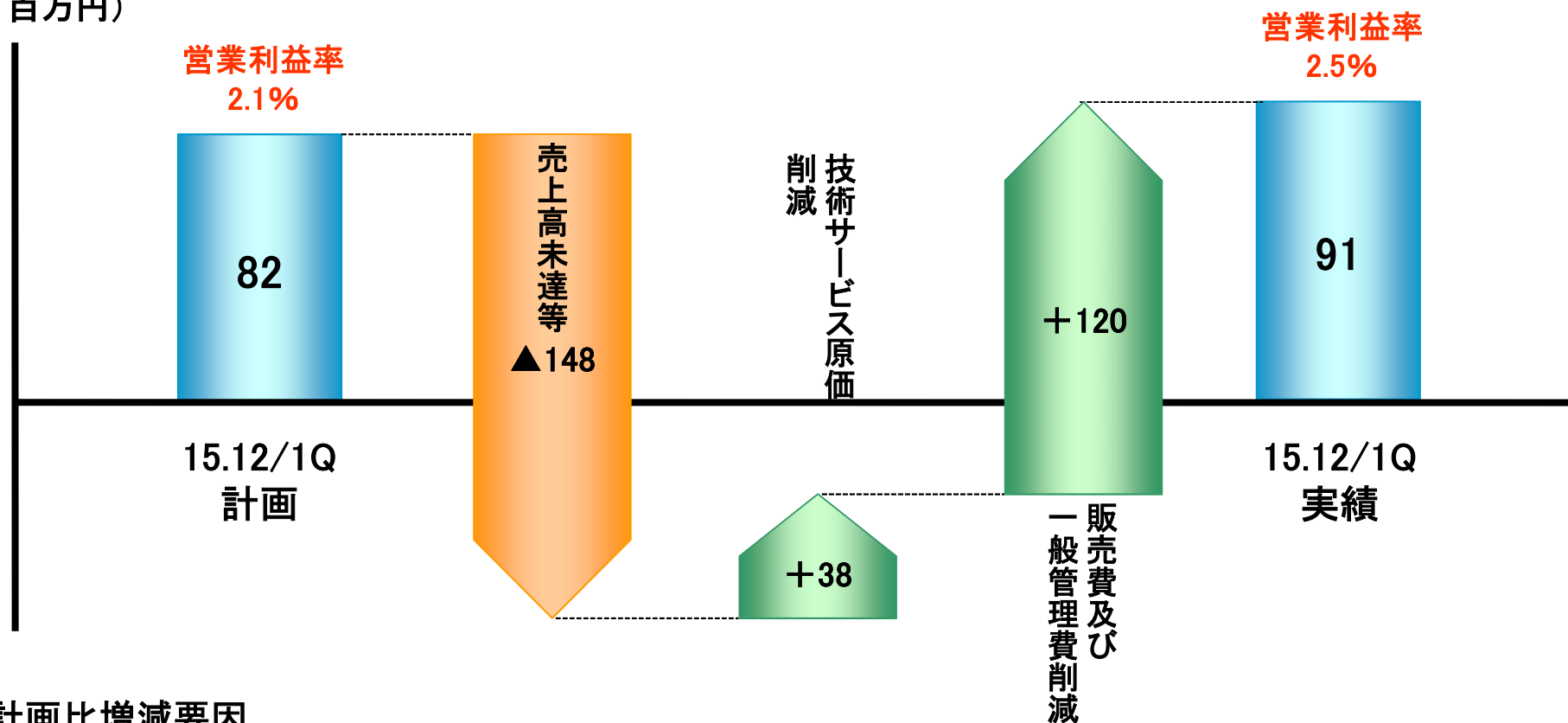
◆ 前期比増減要因

商品利益は、国内売上高が伸び悩んだことによる減益要因ありましたが、前期の可視化分野における大型案件の商品原価率が高かったこと等により商品原価率が改善したこと及び海外子会社が概ね好調に推移したこと並びに円安による為替の影響等もあり、前同差31百万円の増益となっております。

営業利益は、経費削減に努めたものの、前期第3四半期から新規連結対象とした台湾子会社の経費算入及び円安による為替の影響等により費用が増加したため、前同差17百万円の減益となっております。

[連結]営業利益の増減要因(計画比較)

(単位:百万円)



◆ 計画比増減要因

商品利益は、国内において主力のマルチフィジックス解析ツールの新規ライセンス販売が低調に推移したことに加え、EDA分野の取扱商品の変更に伴い販売を開始した電子回路基板設計ソリューションが売上未達となったことにより、計画比148百万円の減益となっております。

営業利益は、為替レートの計画差や経費削減等による費用の減少があり、計画比9百万円の増益となっております。

[連結]貸借対照表

CYBERNET

(単位:百万円)

	14.12	15.12/1Q	前期末差
流動資産	14,503	13,762	▲ 740
現金及び預金	3,343	2,011	▲ 1,332 ①
受取手形及び売掛金	3,520	3,589	68
有価証券	3,010	3,705	695 ②
短期貸付金	3,020	3,044	23
その他	1,608	1,412	▲ 195
固定資産	5,362	5,036	▲ 326
有形固定資産	339	333	▲ 6
無形固定資産	3,466	3,143	▲ 322 ③
投資その他の資産	1,556	1,559	2
資産合計	19,865	18,798	▲ 1,066
流動負債	4,733	4,154	▲ 579
買掛金	1,029	1,216	187
未払費用	428	433	4
前受金	2,034	2,015	▲ 19
賞与引当金	447	152	▲ 294
その他	792	335	▲ 457 ④
固定負債	913	1,104	190
退職給付に係る負債	845	1,039	194
その他	68	64	▲ 4
負債合計	5,647	5,258	▲ 388
純資産合計	14,218	13,540	▲ 677 ⑤
負債純資産合計	19,865	18,798	▲ 1,066

◆ 前期末差増減要因

- ①現金及び預金（前期末差 ▲1,332百万円）
資金運用のための有価証券純購入額▲500百万円及び法人税等の支払額▲424百万円により減少しております。
- ②有価証券（前期末差 695百万円）
債券の購入1,500百万円、債券の償還▲1,000百万円及び長期から短期への振替201百万円により増加しております。
- ③のれん（前期末差 ▲367百万円）
償却▲96百万円及び為替換算▲271百万円により減少しております。
- ④未払法人税等（前期末差 ▲419百万円）
法人税等の支払額▲424百万円により減少しております。
- ⑤純資産合計（前期末差 ▲677百万円）
剰余金の配当▲255百万円、為替換算調整勘定の減少▲319百万円により減少しております。

[連結]キャッシュ・フロー計算書

CYBERNET

(単位:百万円)

	14.12/1Q	15.12/1Q	前同差
営業活動によるキャッシュ・フロー	98	▲ 246	▲ 345
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 933	▲ 287	645
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 161	▲ 253	▲ 92
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲ 37	▲ 35	1
現金及び現金同等物の増減額	▲ 1,033	▲ 823	210
現金及び現金同等物の期首残高	4,042	4,239	197
連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増加額	15	—	▲ 15
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,024	3,416	392

◆ 前年同期比増減要因

営業活動によるキャッシュ・フロー

債権債務の増減等ありますが、主に法人税等の支払額の増加によりマイナスとなっております。

投資活動によるキャッシュ・フロー

主に資金運用のための投資有価証券の取得による支出が減少したことによりプラスとなっております。

財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払額が増加したことによりマイナスとなっております。

[連結]四半期売上高の推移

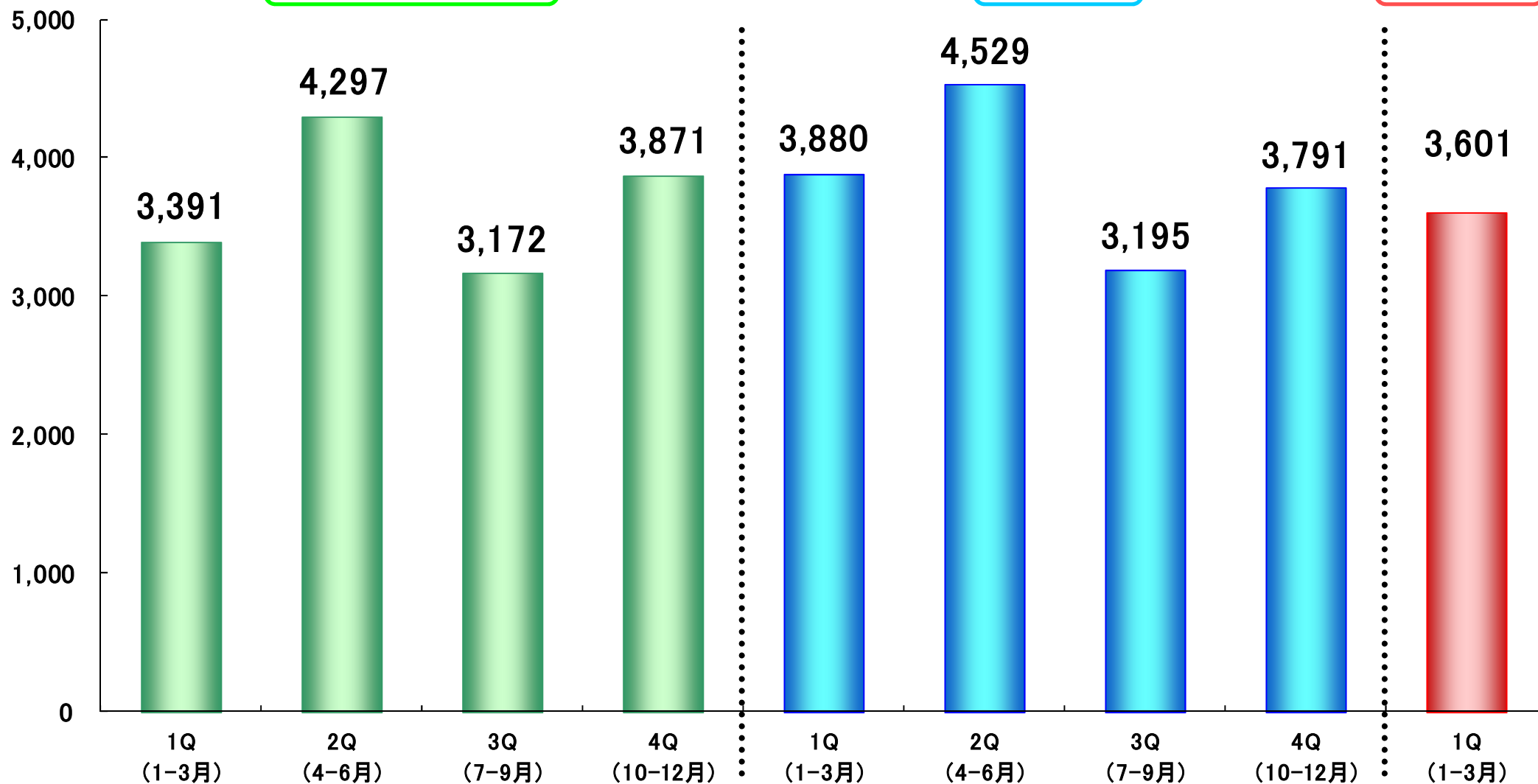
CYBERNET

(単位:百万円)

調整後13.12

14.12

15.12



[連結]セグメント別損益の概況

CYBERNET

(単位:百万円)

	14.12/1Q		15.12/1Q			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
売上高 合計	3,880	100.0%	3,601	100.0%	▲ 278	92.8%
CAEソリューションサービス事業	3,479	89.7%	3,098	86.0%	▲ 381	89.0%
ITソリューションサービス事業	400	10.3%	503	14.0%	+ 102	125.7%
セグメント利益(営業利益) 合計	109	—	91	—	▲ 17	84.0%
CAEソリューションサービス事業	444	—	346	—	▲ 97	78.1%
ITソリューションサービス事業	23	—	88	—	+ 65	379.2%
調整額	▲ 358	—	▲ 343	—	+ 14	95.9%

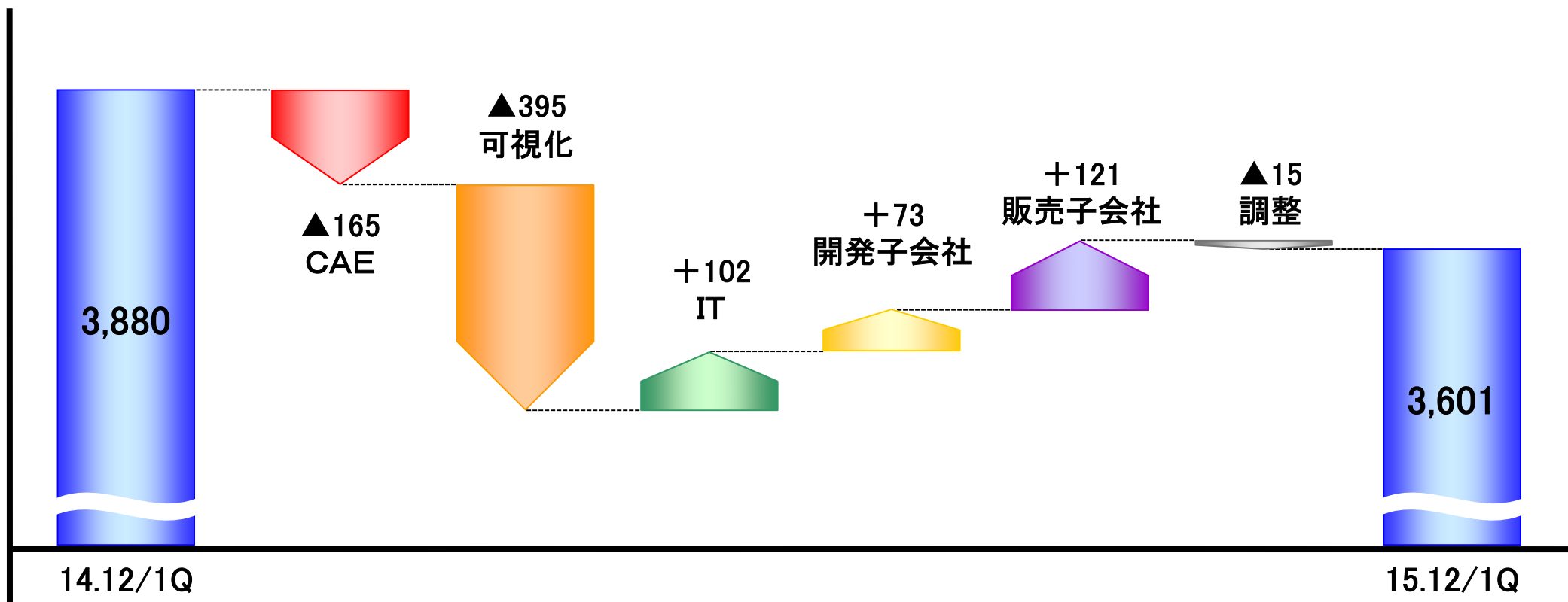
注) 調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

注) CAEソリューションサービス事業はCAE、可視化、開発子会社、販売子会社の合計です。

[連結]事業別売上高の増減要因(前年同期比較)

CYBERNET

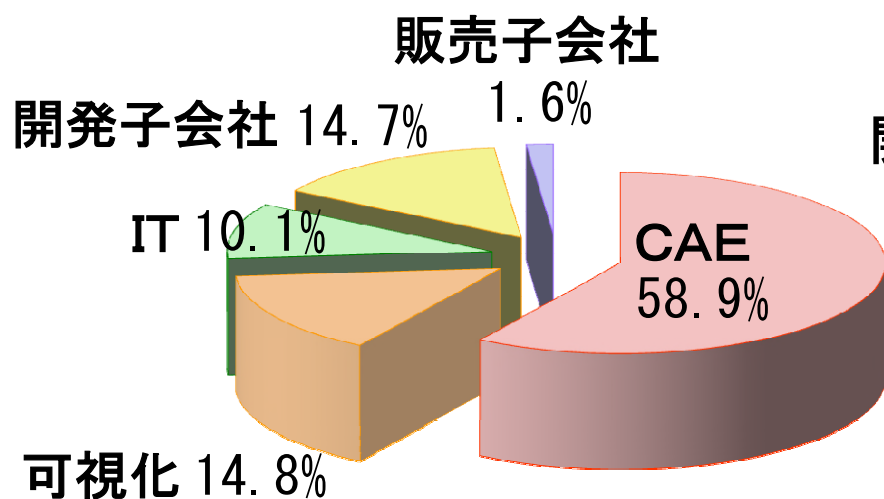
(単位:百万円)



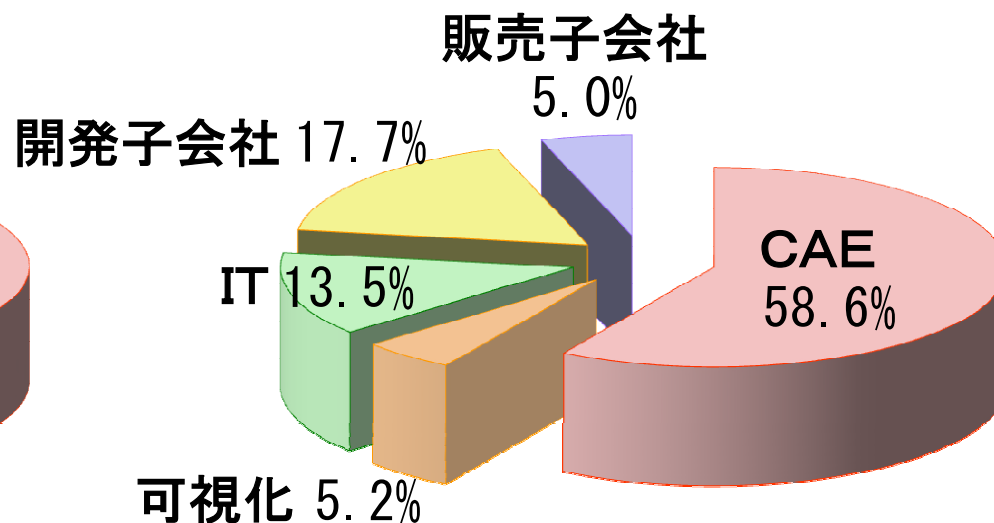
注) 各事業の分類は以下となります。

- ・ CAEとは、個別におけるCAEソリューションサービス事業となります。(可視化分野除く)
- ・ 可視化とは、個別における可視化分野となります。
- ・ ITとは、個別におけるITソリューションサービス事業となります。
- ・ 開発子会社とは、連結対象の欧米の開発子会社3社の合計数値となります。
- ・ 販売子会社とは、連結対象のアジアの販売子会社3社の合計数値となります。
- ・ 調整とは、連結調整となります。

[連結]事業別売上高の構成比



連結売上高
3,880百万円
14.12/1Q



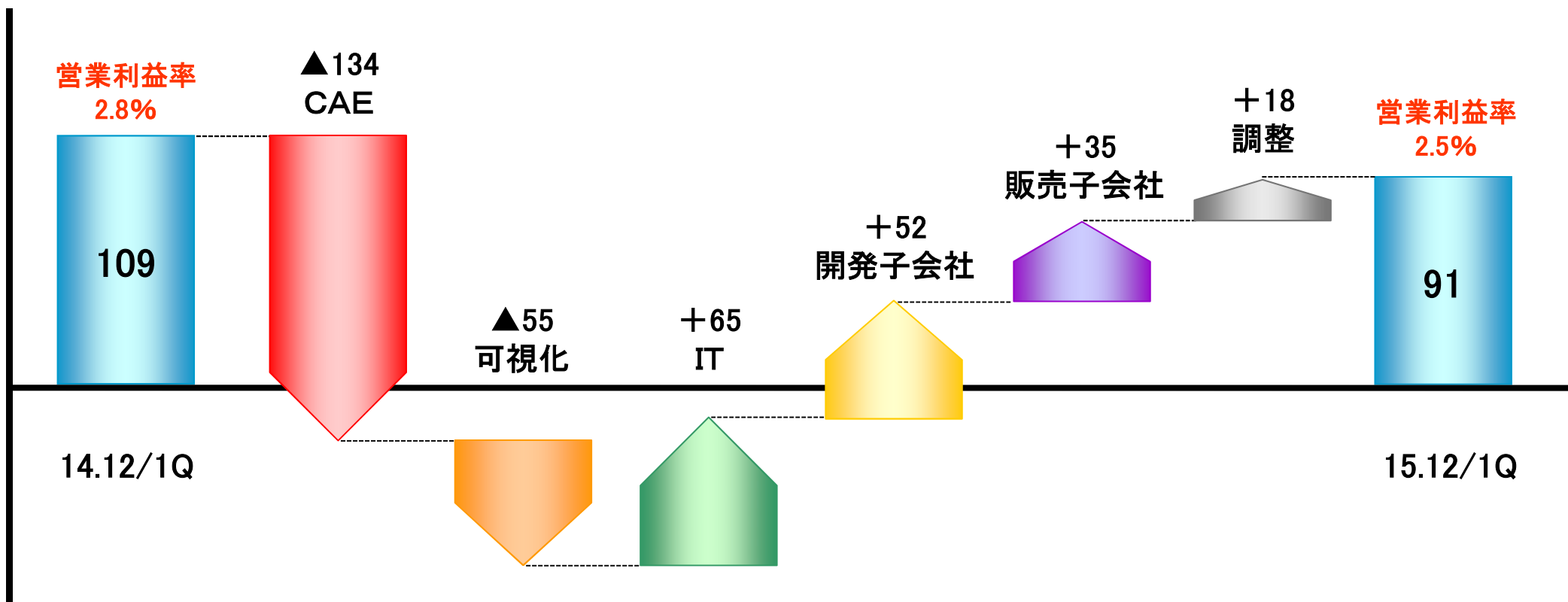
連結売上高
3,601百万円
15.12/1Q

注) 上記数値は、連結調整を除いた構成比です。
各事業の分類は前ページと同様となります。

[連結]事業別営業利益の増減要因(前年同期比較)

CYBERNET

(単位:百万円)



注) 上記数値は、前期営業利益に対する事業別の増減額となります。
 各事業の分類は前ページの売上高と同様となります。
 調整には、連結調整と全社費用が含まれております。

CAEソリューションサービス

<p>M C A E 分野</p>	<p>主力のマルチフィジックス解析ツールは、保守契約の更新はほぼ前年並みに推移。新規ライセンス販売は、電機業界からの受注は堅調であったものの、機械製造業や重工業、教育・官公庁からの受注が伸び悩み、低調に推移。 3次元ダイレクトモデラーは、製造業の各分野からCAE解析用や構造設計用の需要が大きく伸び、新規ライセンス販売及び保守契約の更新が共に好調に推移。</p>
<p>光学設計分野</p>	<p>光学設計評価プログラムは、自動車業界においてヘッドアップディスプレイの設計などで需要が広がり、新規ライセンス販売が好調に推移。 前期より販売を開始した自動車用照明設計プラットフォームは、自動車用照明機器に参入している電機業界での複数の採用があり、新規ライセンス販売が好調に推移。 主力の照明設計解析ソフトウェアは、保守契約の更新は好調に推移したが、新規ライセンス販売が低調に推移。</p>
<p>E D A 分野</p>	<p>前期の取扱商品の変更に伴い新たに販売を開始した電子回路基板設計ソリューションは、立ち上げ段階のため低調に推移。 プリント基板(PCB)エンジニアリングサービスは、既存取引顧客からの受注は堅調だったが、新規案件の開拓が進まず、低調に推移。</p>
<p>M B D 分野</p>	<p>当社グループ製品であるシステムレベルモデリング&シミュレーションは、保守契約の更新は好調に推移したが、新規ライセンス販売が低調に推移。 モデルベース開発エンジニアリングサービスは、特に大手自動車メーカーからのモデリング及びシミュレーション環境構築に関するコンサルティングサービスビジネスへの需要が多く、好調に推移。</p>

[個別]ソリューション別の概況

CAEソリューションサービス

ビッグデータ分野	イノベーション支援ソリューションは、保守契約の更新は好調に推移したが、前期に比べ大型案件が少なかったため、新規ライセンス販売は低調に推移。 ビッグデータ可視化エンジンは、案件の先送りが多く、計画通りに進まず。
テスト・計測分野	当社が開発したFPD (Flat Panel Display) 自動検査システムは、中国をはじめFPD関連の検査自動化のニーズが高まっていることもあり、好調に推移。
その他分野	当社グループ製品である3次元公差マネジメントツールは、保守契約の更新は堅調に推移したものの、新規ライセンス販売が低調に推移したため、横ばい。 同じく当社グループ製品である最適設計支援ツールは、新規ライセンス販売が低調に推移。 CAE技術教育ビジネスは好調に推移。
可視化分野	医用画像ソフトウェアの販売及びAR (Augmented Reality: 拡張現実) ソリューションの新規ライセンス販売並びに製造業向けのAR構築支援サービスが好調に推移。 しかし、前期の大規模可視化装置及びシステム導入の大型案件をカバーするには至らず。

ITソリューションサービス

主力商品である大手開発ベンダのセキュリティ関連ソリューションは、月額課金モデル、OEMモデル及びクラウドサービスの成長により、契約更新が好調に推移。
 ディスク暗号化ソフトウェアは、大手販社との提携やPC買い替え需要により、新規ライセンス販売及び保守契約の更新が共に好調に推移。
 IT資産管理ソフトウェアは、大手金融企業での管理PCの増加により、新規ライセンス販売が好調に推移。
 端末エミュレータは、官公庁の買い替え需要により、新規ライセンス販売が好調に推移。
 クラウドサービスは、邦人企業の海外展開でのセキュリティ対応により、新規契約及び契約更新が共に好調に推移。

[個別]応用分野別売上高

CYBERNET

<第1四半期>

(単位:百万円)

	14.12/1Q		15.12/1Q			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
MCAE	1,009	30.3%	945	32.9%	▲ 63	93.7%
光学設計	759	22.8%	749	26.1%	▲ 10	98.6%
EDA	246	7.4%	93	3.3%	▲ 153	37.9%
MBD	173	5.2%	188	6.6%	+ 15	109.0%
ビッグデータ	78	2.4%	67	2.3%	▲ 11	85.3%
テスト・計測	6	0.2%	62	2.2%	+ 56	979.9%
その他	70	2.1%	71	2.5%	0	101.3%
可視化	588	17.7%	193	6.7%	▲ 395	32.9%
ITソリューション	400	12.0%	503	17.5%	+ 102	125.7%
合計	3,333	100.0%	2,875	100.0%	▲ 458	86.3%

[個別]業種別売上高

CYBERNET

<第1四半期>

(単位:百万円)

	14.12/1Q		15.12/1Q			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
電気機器	918	27.5%	929	32.3%	+ 11	101.2%
機械・精密機器	521	15.7%	508	17.7%	▲ 13	97.5%
輸送用機器	378	11.4%	289	10.1%	▲ 89	76.4%
その他製造業	300	9.0%	230	8.0%	▲ 70	76.7%
教育・官公庁	767	23.0%	345	12.0%	▲ 421	45.1%
情報・通信	129	3.9%	165	5.8%	+ 36	128.5%
その他	318	9.5%	405	14.1%	+ 87	127.5%
合計	3,333	100.0%	2,875	100.0%	▲ 458	86.3%

[個別]ライセンス契約別売上高

CYBERNET

<第1四半期>

(単位:百万円)

	14.12/1Q		15.12/1Q			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
新規契約	1,226	45.8%	1,001	40.4%	▲ 225	81.6%
更新契約	1,448	54.2%	1,476	59.6%	+ 27	101.9%
合計	2,675	100.0%	2,477	100.0%	▲ 198	92.6%

注) 上記数値は、ライセンス契約形態をとるソフトウェア・ハードウェア・サービス売上高のみを対象としております。

海外子会社の状況(開発子会社)

CYBERNET

開発子会社	WATERLOO MAPLE INC.	Noesis Solutions NV	Sigmatrrix, L.L.C.
	カナダ	ベルギー	米国
売上前年比 (現地通貨ベース)	105.1%	139.4%	95.8%
売上前年比 (円ベース)	109.4%	138.3%	110.2%
状況	開発する数式処理・数式モデル設計環境の販売が北米で好調に推移。	最適設計支援ツールの販売が欧州で好調に推移。	3次元公差マネジメントツール及び幾何公差設計ツールは好調に推移したものの、コンサルティングサービスが低調に推移。

海外子会社の状況(販売子会社)

販売子会社	CYBERNET SYSTEMS (SHANGHAI) CO., LTD.	CYBERNET SYSTEMS TAIWAN CO., LTD.
	中国	台湾
売上前年比 (現地通貨ベース)	148.7%	前期第3四半期から連結対象
売上前年比 (円ベース)	166.4%	
状況	当社開発の光学測定器 ビジネスが計画どおり堅 調に推移。	照明設計解析ソフトウェ アが順調に推移。



2015年12月期 業績予想

つくる情熱を、支える情熱。
CYBERNET

[連結]当期の業績予想

CYBERNET

(単位:百万円)

	第2四半期累計期間				通期			
	15.12E/1H	14.12/1H			15.12E	14.12		
	予想	実績	前同差	前同比	予想	実績	前同差	前同比
売上高	8,816	8,409	+406	104.8%	16,732	15,396	+1,335	108.7%
営業利益	553	664	▲111	83.2%	850	810	+39	104.8%
営業利益率	6.3%	7.9%	▲1.6P		5.1%	5.3%	▲0.2P	
経常利益	617	765	▲148	80.6%	980	974	+5	100.6%
経常利益率	7.0%	9.1%	▲2.1P		5.9%	6.3%	▲0.4P	
当期純利益	323	361	▲38	89.4%	506	596	▲90	84.8%
当期純利益率	3.7%	4.3%	▲0.6P		3.0%	3.9%	▲0.9P	

業績予想について

※P:ポイント

15.12Eの期初業績予想における為替レートは117円/USDを想定したものであります。

[連結]当期の配当予想

CYBERNET

(単位:円)

	14.12	15.12E		
	合計	第2四半期末	期末	合計
	実績	予想	予想	予想
1株当たり配当額	13.80	6.90	6.90	13.80
（普通配当）	11.20	6.90	6.90	13.80
（記念配当）	2.60	—	—	—
1株当たり当期純利益	19.14	10.37	—	16.24
配当性向	72.1%	—	—	85.0%
（参考）純資産配当率	3.1%	—	—	3.0%

14.12の配当については、普通配当11円20銭（中間5円60銭、期末5円60銭）に加え、創立30周年記念配当2円60銭が含まれております。

配当方針

当社は、2015年度より、以下のうちいずれか高い方を配当金額決定の参考指標とし、あわせて今後の企業価値向上に向けての中長期的な投資額を勘案した上で、総合的な判断により決定いたします。

- ・配当性向50%（従来は40%）
- ・純資産（株主資本）配当率3.0%（従来は2.5%）



参考資料

つくる情熱を、支える情熱。
CYBERNET

会社概況(2015年3月31日現在)

CYBERNET

- ◆ 名称 : サイバネットシステム株式会社 (東証第一部 4312)
Cybernet Systems Co., Ltd.
- ◆ 本社 : 東京都千代田区神田練塀町3番地
- ◆ 拠点 : 西日本支社(大阪)、中部支社(名古屋)
- ◆ 設立 : 1985年4月17日
- ◆ 資本金 : 995百万円
- ◆ 社員数 : 連結 556名
個別 339名
- ◆ 事業内容 : CAEソリューション及びITソリューションサービスの提供、
各種コンサルティングの提供
- ◆ 子会社 : 連結 WATERLOO MAPLE INC. (カナダ)
Noesis Solutions NV (ベルギー)
CYBERNET SYSTEMS (SHANGHAI) CO., LTD. (中国)
Sigmetrix, L. L. C. (米国)
CYBERNET HOLDINGS CANADA, INC. (特定目的会社)
Cybernet Systems Holdings U. S. Inc. (特定目的会社)
CYBERNET SYSTEMS TAIWAN CO., LTD. (台湾)
CYBERNET SYSTEMS KOREA CO., LTD. (韓国) (2015年1月末営業停止)

CAEとは、Computer Aided Engineeringの略で、コンピュータによる工学支援のことをいい、コンピュータ上で仮想設計し、仮想実験することです。

[個別]業績の概況

CYBERNET

(単位:百万円)

	15.12/1Q	14.12/1Q			15.12/1Q		
	実績	実績	前同差	前同比	計画	計画差	計画比
売上高	2,875	3,333	▲ 458	86.3%	3,140	▲ 264	91.6%
営業利益	215	328	▲ 112	65.6%	304	▲ 88	70.8%
営業利益率	7.5%	9.8%	▲ 2.3P		9.7%	▲ 2.2P	
経常利益	226	365	▲ 138	62.1%	314	▲ 87	72.3%
経常利益率	7.9%	11.0%	▲ 3.1P		10.0%	▲ 2.1P	
四半期純利益	92	215	▲ 122	42.9%	201	▲ 108	45.9%
四半期純利益率	3.2%	6.5%	▲ 3.3P		6.4%	▲ 3.2P	

※P:ポイント

[個別]当期の業績予想

CYBERNET

(単位:百万円)

	第2四半期累計期間				通期			
	15.12E/1H	14.12/1H			15.12E	14.12		
	予想	実績	前同差	前同比	予想	実績	前同差	前同比
売上高	7,324	7,322	+1	100.0%	13,222	12,294	+927	107.5%
営業利益	952	1,107	▲155	86.0%	1,278	1,136	+141	112.5%
営業利益率	13.0%	15.1%	▲2.1P		9.7%	9.2%	+0.5P	
経常利益	971	1,163	▲192	83.5%	1,314	1,192	+121	110.2%
経常利益率	13.3%	15.9%	▲2.6P		9.9%	9.7%	+0.2P	
当期純利益	624	681	▲57	91.6%	843	535	+307	157.5%
当期純利益率	8.5%	9.3%	▲0.8P		6.4%	4.4%	+2.0P	

業績予想について

※P:ポイント

15.12Eの期初業績予想における為替レートは117円/USDを想定したものであります。

■ 広報室

住 所	〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町3番地
TEL	03-5297-3066
FAX	03-5297-3609
E-MAIL	irquery@cybernet.co.jp
Webサイト	http://www.cybernet.jp/

本資料は、投資家の投資の参考となる情報のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

本資料は、当社業務によって得られた各種データに基づいて作成したものです。その安全性を保証するものではありません。

また、資料に記載された意見や予測は資料作成時の当社の見通しであり、当該意見、予測等を使用した結果についてもなんら保証するものではありません。記載された内容が予告なしで変更することもありますのでご注意ください。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

つくる情熱を、支える情熱。
CYBERNET